

〔長久手市行政評価票：平成23年度業務〕

担当課・係名		保健医療課 国保年金係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）56-0618・179】																																																	
第5次総合計画掲載		基本方針（5 みんなの力を結集する自治と協働のまち） 基本施策（5-5 合理的で効果的な行政運営を行う）																																																	
業務の名称		国民健康保険税賦課徴収事業																																																	
(1) 根拠法令・条例		国民健康保険法、国民健康保険法施行規則																																																	
(2) 業務期間		開始した年度	昭和36年度	終了（予定）年度	— 年度																																														
(3) 業務概要	国民健康保険の適切な運営のため、加入者がいる世帯に対し賦課を行い、納付書や口座振替等で徴収事務を行う。			国・県・民間と類似した事業、他市町の実施の状況 ・他の市町村も同様に賦課徴収を行っている。 ・地方税（市県民税など）の滞納整理の専門機関として、愛知県と豊田尾張東部4市1町（豊明市・日進市・みよし市・東郷町・長久手市）によって愛知県豊田尾張東部地方税滞納整理機構が設立され、平成23年4月から業務を開始。																																															
	(4) 業務の目的と指標		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">①対象（誰、何を対象としているか）</th> <th rowspan="2">対象指標</th> <th colspan="2">状態を表す指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <th>ア</th> <th>イ</th> <th>ウ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険税納税義務者</td> <td>ア</td> <td>納税義務者数</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="3">②手段（どのような事業で）※実施した活動</th> <th rowspan="3">活動指標</th> <th>ア</th> <td>納税通知書発送件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <th>イ</th> <td>申告勧奨世帯数</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <th>ウ</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="3">③意図（対象をどのような状態にしたいか）</th> <th rowspan="3">成果指標</th> <th>ア</th> <td>国民健康保険税収納率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <th>イ</th> <td>勧奨により申告した世帯数</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <th>ウ</th> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					①対象（誰、何を対象としているか）	対象指標	状態を表す指標		単位	ア	イ	ウ	国民健康保険税納税義務者	ア	納税義務者数		人		イ					ウ				②手段（どのような事業で）※実施した活動	活動指標	ア	納税通知書発送件数	件	イ	申告勧奨世帯数	世帯	ウ			③意図（対象をどのような状態にしたいか）	成果指標	ア	国民健康保険税収納率	%	イ	勧奨により申告した世帯数	世帯	ウ	
①対象（誰、何を対象としているか）	対象指標	状態を表す指標		単位																																															
		ア	イ	ウ																																															
国民健康保険税納税義務者	ア	納税義務者数		人																																															
	イ																																																		
	ウ																																																		
②手段（どのような事業で）※実施した活動	活動指標	ア	納税通知書発送件数	件																																															
		イ	申告勧奨世帯数	世帯																																															
		ウ																																																	
③意図（対象をどのような状態にしたいか）	成果指標	ア	国民健康保険税収納率	%																																															
		イ	勧奨により申告した世帯数	世帯																																															
		ウ																																																	
④成果指標設定の理由		滞納世帯数を減らし、適切に国民健康保険税賦課徴収事務を行うため、収納率と勧奨により申告した世帯数を指標とした。																																																	
(5) 指標の推移			単位	目標値	21年度	22年度	23年度	24年度(計画)																																											
	①対象指標	ア	人	6,552	6,120	6,285	6,417	6,552																																											
		イ																																																	
		ウ																																																	
	②活動指標	ア	件	6,552	6,120	6,285	6,417	6,552																																											
		イ	世帯	78	—	66	72	78																																											
		ウ																																																	
	③成果指標	ア	%	93.0	91.29	91.93	92.95	93.00																																											
		イ	世帯	40	—	30	14	40																																											
ウ																																																			
(6) 事業費の推移	事業費		千円		8,517	6,395	7,134	6,760																																											
	うち	国費	千円																																																
		県費	千円																																																
		一般財源	千円		8,517	6,395	7,134	6,760																																											
		受益者負担	千円																																																
	延職員数(臨職)		人		1.74	1.74	1.74	1.74																																											
(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）																																																			
・国民健康保険の手続きは、制度上分かりづらい点が多数ある。そのため、滞納となっている場合もあるため窓口対応時等にちゃんとした説明を行う事が、適切な国民健康保険税賦課徴収事務につながるだろう。																																																			

(8)評価	必要性	A	法律で義務づけられている事業であるため	総合評価
	有効性	A	法律で義務づけられている事業であるため	B
	効率性	B	システム改善により、コスト削減の余地があるため	
(9)今後の改善の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・制度に対する職員の理解を高める事と、お客様に十分な説明を行うことが必要である。 			

行政評価チェックリスト

必要性	町が関与することは妥当か		該当	
	①	法律で実施が義務づけられている事業	<input checked="" type="checkbox"/>	
	②	受益の範囲が不特定多数の住民に及び、財・サービスの対価の徴収ができない事業	<input type="checkbox"/>	
	③	住民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	④	住民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは住民の不安を解消するために、必要な規制、監視指導、情報提供、相談などを目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	⑤	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網（セーフティ・ネット）を整備することを目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	⑥	住民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	<input type="checkbox"/>	
	⑦	民間のサービスだけでは町域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補完・先導する事業	<input type="checkbox"/>	
	⑧	町の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	⑨	特定の住民や団体を対象としたサービスであって、サービスの提供を通じて、対象者以外の第三者にも受益がおよぶ事業	<input type="checkbox"/>	
	⑩	内部管理事務	<input type="checkbox"/>	
	事業内容は適切か		関連項目	
	⑪	事業開始時の目的を概ね達成するなど、実施意義が低下している。 (長年実施している事業、対象数が減少している事業)	(2)、(5)①	<input type="checkbox"/>
	⑫	社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化し実施意義が低下している。 (目的の設定が現状にあっていない)	(4)	<input type="checkbox"/>
	⑬	対象者、利用者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 (事業実績が前年と比べ低下している事業)	(5)②	<input type="checkbox"/>
	⑭	住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 (当初計画・予算などと比較して実績等が少ない事業)	(5)②	<input type="checkbox"/>
	⑮	国や他市町と比較してサービス対象や水準を見直す余地がある。 (他市町で廃止された、他市町と比べ供給量が大きい事業)	(3)	<input type="checkbox"/>
有効性	重複した事業が実施されていないか		該当	
	①	施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="checkbox"/>	
	②	国や県のサービスと重複している	<input type="checkbox"/>	
	③	民間のサービスと重複している	<input type="checkbox"/>	
		事業の成果はあがっているか		関連項目
	④	施策の目的達成のため、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 (成果実績向上につながる事業方法が他にない)	(4)、(5)	<input type="checkbox"/>
	⑤	町の施策への貢献度が高いとはいえない。 (目標設定が適切でない、成果実績と目標が大きく乖離している)	(5)	<input type="checkbox"/>
⑥	事業を継続しても成果の向上が期待できない。 (成果指標の実績が前年から向上していない事業)	(5)③	<input type="checkbox"/>	
⑦	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	(4)	<input type="checkbox"/>	
効率性	実施主体は適切か		該当	
	①	民間事業者、NPO法人、住民団体等を活用しても市民サービスが低下しない。	<input type="checkbox"/>	
	②	民間事業者、NPO法人、住民団体等を活用するとコストの低減が期待できる。	<input type="checkbox"/>	
	③	民間事業者、NPO法人、住民団体等が持つノウハウ等を活用できる。	<input type="checkbox"/>	
		コスト改善の余地はあるか		関連項目
	④	人件費の見直しにより、コストを下げる余地がある。 (臨時職員の活用などで人件費を下げられる)	(6)	<input type="checkbox"/>
	⑤	業務内容の見直しにより、コストを下げる余地がある。 (業務内容、委託内容の精査により業務量削減がはかれる)	(3)、(6)	<input type="checkbox"/>
⑥	事務改善によりコストを下げる余地がある。 (作業の簡素化などにより時間や無駄を省ける)	(3)、(6)	<input checked="" type="checkbox"/>	
⑦	受益者負担に改善の余地がある。 (受益者負担＝受益者が負担すべき費用となっていない)	(6)	<input type="checkbox"/>	